

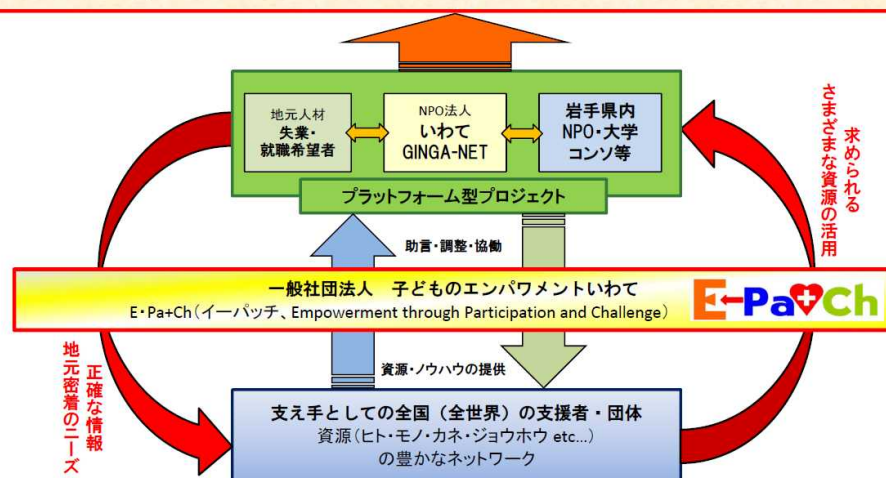
# ～学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業の取組事例～

## 子どもたちの未来を創る「学びの部屋」実行委員会

### 取組の基本理念

全国からの支援と、地域住民や大学生等の地域資源を結び付け、子どもエンパワメントをきっかけとした、地域のエンパワメントを実現する。

被災地の復興支援  
子ども(10年後のおとな)のエンパワメントをきっかけとした、地域のエンパワメントへ



### 事業概要

東日本大震災で被害を受けた地域で、小・中・高校生が、学校と家庭以外に安心して過ごすことができる「三間+1(空間、時間、仲間+すき間)」を提供する場を設ける。

サポートする大人や大学生と関わる中で、子どもたちが自身の夢を描いたり、進路を考えたり、そのために必要な学習に取り組み、広い意味での学びを深め、子どもたちの「やる気」をサポートする。

- I: 教育委員会や地域団体と協働した放課後学習の場の確保
- II: 退職教員、地元塾講師等の地域人材と協働した実施
- III: 大学生ボランティアと協働した場とプログラムづくり
- IV: 子どもと大人、大学生がともに学び合うコミュニティづくり

### 取組の概要

東日本大震災で被害を受けた、岩手県宮古市、釜石市、大船渡市、陸前高田市、住田町で、計19か所の「学びの部屋」を設置。



仮設住宅談話室を利用する例



放課後の学校を利用する例



日曜日の学生ボランティアバス



学習支援員養成研修



大学生ボランティアとの交流